

トピックⅡ

水利が拓く実りの明日へ。 水利ゼミの取組について

1 「水利が拓く 実りの明日へ」の概要

「水利が拓く 実りの明日へ」は、地域の農業と生活を土地改良事業が支えていることを広く新潟県民に広報するため、信濃川水系土地改良調査管理事務所を始めとする新潟県内国営事業（務）所により、平成28年度から行っている取組です。これまでに、『新潟日報』の紙面を活用した地域情報やWebサイトによる情報発信により農業水利施設の紹介等を行い、土地改良事業の役割や効果について、農業者を始めとする新潟県の皆様に御案内して参りました。

★特設サイトはこちら <https://minori-niigata.jp/>



キャンペーンロゴマーク

令和3年度からは農業水利施設の大切さについて周知を図ることを目的として、「水利ゼミ」と称し、大学生等の参加者が水利施設の見学や地域農業法人との交流、意見交換を行い、その一連の様子を記事にする取組を行っています。今年度は2地区で水利ゼミを開講し、その内容を新潟日報の朝刊に掲載しました。令和7年度の取組と広報イベント「水の恵みを体感！親子バスツアー」を紹介します。



水利ゼミ開講
令和7年7月11日 新潟日報 朝刊

2 令和7年度の取組

■第1回 信濃川左岸流域

「新潟のコメを育む水 川から水路へ、田んぼへ」

取材日：令和7年8月22日

信濃川左岸流域農業水利事業所や信濃川左岸土地改良区等の皆様の協力の下、大学生5名が農業水利施設の役割や農業法人の取組について取材しました。

▶農業水利施設の見学

（小千谷頭首工、1号幹線水路、分水工、中央管理所（信濃川左岸土地改良区））

▶営農取組の現場見学

（有限会社あさひ農研 見学）



第1回：信濃川左岸流域
令和7年9月27日 新潟日報 朝刊

■第2回 新川流域

「農地を保全し、暮らしを守る」

取材日：令和7年8月28日

新川流域農業水利事業所や西蒲原土地改良区等の皆様の協力の下、大学生4名と一般参加者3名が農業水利施設の役割や歴史、農業法人の取組について取材しました。

▶農業水利施設の見学

(新川河口自然排水樋門、新川河口排水機場、中央管理所)

▶地域の排水の歴史

(西蒲原土地改良事業展示室)

▶営農及び農作物販売の現場見学

(有限会社「盈科」見学(水稲、ル レクチエ)、新潟県農業大学校直売所「情熱市場」見学)



第2回：新川流域
令和7年11月3日 新潟日報 朝刊

3 水の恵みを体感！親子バスツアー

「水の恵み」を学ぶ親子バスツアーを令和7年10月18日に新潟市南区で行い、公募で集まった市内外の小中学生と保護者計33人が参加しました。

白根郷地区は信濃川、中ノ口川に囲まれた完全輪中地帯で、周辺河川よりも地区内の標高が低いため自然排水ができず、古くから土地改良事業により排水改良事業が行われてきました。その歴史や水利施設への理解を深めてもらうとともに、白根排水機場では、その仕組みや水の大切さを学習しました。

また川の水が農業や私たちの食にもつながっていることを体系的に学べる機会とするため、白根グレイプガーデンでブドウ狩りを行いました。すぐそばを信濃川が流れており、川が運んできた肥沃な土地のおかげで、果物の栽培も盛んになったといいます。その後、新潟市アグリパークの調理室で調理講師からアドバイスを受けながら、収穫したブドウを使ったパフェとおにぎりを作りました。子供たちは、炊き立ての新米を自分の手で握り、自分たちで採ったブドウをパフェに重ねて味わいました。

農地を守る水利施設が農作物を育むために欠かせない役割を担っていることを学ぶ1日になりました。当日の様子は「水利が拓く、実りの明日へ」のWebサイト内でも発信しています。



白根排水機場



排水機場の役割を説明



おにぎりとおにぎりと収穫したブドウを使ったパフェ